

保姆方々に送られ乍ら、一搖一搖と船路が遠くなりました。

かへりみすれば、高知の山々は秋旻の下に、くつきりとその姿を浮び出させて居ります。あの綠なす岡のかけには、無垢の幼児と、やさしきこれが保育者とは夢もまどかに、すこやかな生活を營んでゐるのです。

さらば、幼きものゝ名に依つてつながる私の友よ、同胞よ、卿等の上に幸多かれ！

雜 錄

第二十三回フレーベル會總會

フレーベル會の第二十三回總會は去る十月十二日(第二土曜日)午後一時半より、東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開かれました。會の順序を申すと先づ本會々長湯原元一氏の挨拶を以て當日の會は始められました(本號巻頭參照)次いで議

事に入り、倉橋主幹の當日の議題たる會名變更の件に關する説明及び開會前に出席者一同にお頒ちした規則改正草案に關する説明がありました。當日の議事は本會評議員久留島武彦氏の動議によつて幹事附託といふことになりました。(當日の議事の結果に就ては本號の「會告」及び「會員諸君へ」の二記事を御見落しないうやうに願ひます) 議事が事なく濟んで少憩の後、講演「神話の心理」が東京帝國大學文科大學助教授文學士桑田芳藏氏によつて行はれました。(この有益な講演はその大要を筆記して本號に掲載してあります。)桑田氏の講演の終りたる後、別室に用意せられたる茶菓を喫しながら會員諸氏が懇談に耽けられんとした頃にはもうそろそろお互ひに顔がよく見えない位の暗さになり、午後六時頃には會員諸氏はすつかり歸途に就かれました。